

各 位

東京都千代田区二番町7番地5
株式会社インフォメーション・ディベロプメント
代表取締役会長兼社長 尾崎 眞 民
(J A S D A Q コード番号 : 4 7 0 9)
(連絡担当 執行役員経営企画部長 蒲原隆一)
T E L (0 3) 3 2 6 4 - 3 5 7 1

特別損失の発生とこれに伴う業績予想修正および期末配当の
修正（記念配当実施）に関するお知らせ

特別損失の発生を踏まえ、平成 16 年 5 月 14 日付当社「平成 16 年 3 月期決算短信（連結・個別）」において発表いたしました、通期業績予想を下記のとおり修正いたしますとともに、記念配当の実施により期末配当予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生およびその内容

株式会社インフォメーション・ディベロプメント創立 35 周年にあたり、役員退職慰労功労加算金の将来の支出に備えるため、役員退職慰労金に関する内規の改訂およびこれに伴う所要の引当金繰入を平成 17 年 3 月期連結会計年度より実施することにより、期間損益の適正化および財務内容の健全化を図ることといたしました。上記に伴う同連結会計年度末要支給額 2 億円を、役員退職慰労引当金繰入額として特別損失に計上することといたします。

2. 平成 17 年 3 月期（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）通期業績予想の修正

(1) 連結業績予想の修正

(単位 : 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 予 想 (A)	1 1 , 6 7 0	6 5 0	2 7 0
今 回 修 正 (B)	1 1 , 3 5 0	5 2 5	1 1 0
増 減 額 (B - A)	3 2 0	1 2 5	1 6 0
増 減 率	2 . 7 %	1 9 . 2 %	5 9 . 3 %
前 年 通 期 実 績	1 1 , 2 0 3	6 2 8	2 0 3
増 減 率 (B 比 較)	1 . 3 %	1 6 . 4 %	4 6 . 1 %

(2) 個別業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	10,500	580	250
今回修正(B)	10,250	495	110
増減額(B-A)	250	85	140
増減率	2.4%	14.7%	56.0%
前年通期実績	10,106	566	188
増減率(B比較)	1.4%	12.6%	41.7%

3. 業績修正理由

当社および当グループ各社の平成17年3月期売上高(連結・個別)および経常利益(連結・個別)は、それぞれおおむね当初計画どおりとなる見込みです。当期純利益が連結2億70百万円から1億10百万円に、個別2億50百万円から1億10百万円にそれぞれ1億60百万円、1億40百万円の減少となるのは、上記1記載のとおり、株式会社インフォメーション・ディベロプメント役員退職慰労功労加算金の同連結会計年度末要支給額2億円を、役員退職慰労引当金繰入額として特別損失に計上することによるものであります。

4. 平成17年3月期(平成16年4月1日～平成17年3月31日)1株当たり配当予想の修正

	中間配当金 (実績)	期末配当金 (予想)	年間配当金 (予想)
前回予想 (平成16年5月14日)	0円00銭	12円00銭	12円00銭
今回修正	0円00銭	普通配当 12円00銭 記念配当 3円00銭	15円00銭

【参考】平成16年3月期実績

	中間配当金	期末配当金	年間配当金
平成16年3月期実績	0円00銭	12円00銭	12円00銭

5. 配当予想修正(記念配当実施)理由

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しており、平成11年3月期末以降1株当たり年12円の配当を継続実施してまいるとともに、平成12年から平成15年にかけては、毎年1回、計4回の1:1.1の株式分割を併せ実施してまいりました。平成17年3月期につきましても、1株当たり年12円の配当を予定しておりましたが、平成17年3月9日開催の取締役会において、当期末における配当金を従来予想の年12円に記念配当年3円を加えた年15円とする案を、平成17年6月開催の当社第37期定時株主総会に付議することを決議いたしました。これは、当社が、当連結会計年度中平成16年10月20日に創立35周年を迎えましたことから、これに伴う記念配当を実施することにより、株主の皆様に対する利益還元の一層の強化に努め、日頃のご支援にお応えせんとするものであります。

以上